

2026年6月22日

月島JFEアクアソリューション株式会社

農林水産省「国内肥料資源利用拡大対策事業（国内肥料資源活用総合支援事業）」の採択について  
～下水汚泥燃焼灰の肥料利用に向けた国内サプライチェーンの構築～

月島JFEアクアソリューション株式会社（以下「TJAS」、社長：鷹取 啓太）は、農林水産省が実施する「国内肥料資源利用拡大対策事業（国内肥料資源活用総合支援事業）」※へ申請し、令和8年度事業として採択されましたことをお知らせいたします。本取り組みでは肥料原料としてリン鉱石に代わり下水汚泥燃焼灰を使用することで、国内肥料資源の利用拡大を図り「食」の自給率向上に貢献します。

現在、国内の肥料市場では、社会情勢の影響により、リン鉱石の輸入価格が高騰しており、肥料メーカーや利用する農業生産者への負担にもなっています。一方で、下水処理場で焼却された下水汚泥の燃焼灰は、リン鉱石と同程度のリンを含有しているものの、その多くはセメント原料としての利用や埋立処分されており、肥料原料としてのポテンシャルを十分に活かしてきれていない状況にあります。そこでTJASは、両者のニーズをつなぎ、国内肥料資源の利用における持続可能なサプライチェーンの創造を目指し、本事業に着手しました。

本事業では『原料供給事業者』、『肥料製造事業者』及び『肥料利用者』の3者で連携計画を作成することが要件となっており、今回は『原料供給事業者』であるTJASが下水処理場から燃焼灰を調達し、『肥料製造事業者』である日之出化学工業株式会社が肥料を生産し、『肥料利用者』である全国農業協同組合連合会を通じて農業生産者にお届けする、というスキームとしています。各者のニーズに応えつつ、安定したサプライチェーンの構築に向けてはなお様々な課題がありますが、連携メンバーが一体となり、計画を推進してまいります。

- 原料供給事業者：TJAS（事業実施者）
- 肥料製造事業者：日之出化学工業株式会社
- 肥料利用者：全国農業協同組合連合会（JA 全農）



リン鉱石



下水汚泥燃焼灰

令和5年に国土交通省より下水汚泥の処理に際して肥料利用を最優先とする旨の通知が発出され、自治体でも様々な対策がとられています。TJASにおいても、全国的に注目度の高い本事業を通じて、下水汚泥の肥料としての有用性の発信を一層推進するとともに、国内の有望な肥料資源である下水汚泥の循環利用の促進に取り組んでまいります。

※国内肥料資源利用拡大対策事業

化学肥料の原料の海外依存度を下げるとともに、畜産や下水汚泥などの国内資源を肥料として利用する取り組みを支援する事業です。具体的には、肥料の原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者の連携を促し、国内資源由来肥料の生産に必要な施設整備や、国内資源由来肥料の試作・栽培実証・利用拡大などを支援します。

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島ホールディングス株式会社 広報・IR部 TEL 03-5560-6503